

|             |  |             |   |
|-------------|--|-------------|---|
| <b>教育方針</b> | <p><b>【学校教育目標】「夢に向かってのびる 杉っ子」</b><br/>                 ～わくわく登校 生き生き学習 笑顔でつながるみんなの学校～</p> <p><b>【めざす児童像】</b><br/>                 ○進んで学ぶ子 <b>【確かな学力】</b>      ○郷土を愛する子 <b>【高い自己有用感】</b><br/>                 ○強い心と体をつくる子 <b>【健やかな体】</b>      ○心を磨く子 <b>【豊かな心】</b></p> | <b>重点目標</b> | <p>①互いのよさを認め合い、つながり合い、高め合う学習集団作り<br/>                 ②特別な教育的ニーズのある児童が生き生きと学ぶことができる<br/>                 特別支援教育・教育相談の充実<br/>                 ③他者の考えを尊重し、さわやかな自己主張で互いの納得解を見つけ出そうとする話し合い活動の充実<br/>                 ④ICTを活用し、協働的で、個別最適な学びの一体的な充実をめざす授業づくり</p> <p>⑤自らの生活や健康を管理し、自律した生活を送ろうとする児童の育成<br/>                 ⑥地域人材との交流学习を中心に、WIN×2のふるさとキャリア教育の推進<br/>                 ⑦メンターチーム、学年団、校務分掌を中心とした次世代育成システムの構築<br/>                 ⑧子供と向き合う時間を生み出す業務改善、働き方改革</p> |
|-------------|--|-------------|---|

( 4 :十分に達成できた 3 :ほぼ達成できた 2 :あまり達成できず 1 :ほとんど達成できず)

| 評価項目           | 具体項目                          | 現状  | めざす姿  | 具体的方策  | 評価基準  | 自己評価 | 目標の達成状況 | 次年度への改善方策 |
|----------------|-------------------------------|---|---|--|---|------|---------|-----------|
| <b>確かな学力</b>   | ○話し合い活動で身に付けた力を他教科、他領域へ広げる。   | ○話し合いの仕方を理解しているが、他教科、他領域へ広がっていない。   | ○話し合いで身に付けた力を活かして、教科等の理解を深めている。                     | ○話し合いを活動を広げたり整理したりするために、話形を使う。(2学期以降は思考ツールなども活用)   | ○学級経営案の1学期の評価とリンクさせる。   |      |         |           |
|                | ○読み取りの力を向上させるために、語彙を増やす。      | ○考えや思いを伝える語彙が少ない。   | ○語彙が増え、考えや思いを伝えている。                                 | ○教室に掲示した「ことばの宝箱」使った授業づくりや文作りを行い、語彙を増やす。  | ○学級経営案の1学期の評価とリンクさせる。   |      |         |           |
|                | ○読書活動、図書館活用を充実させる。            | ○学習での図書館利用が十分でなく、貸し出し冊数も減っている。  | ○本を借りる子や本で調べる子が増えている。                               | ○国語、社会、総合等の学習で学校図書館を利用する。  | ○学期に国語で2単元以上図書館を利用できたか。(3学期は1単元以上)  |      |         |           |
| <b>豊かな心</b>    | ○自己有用感、自己肯定感の育成               | ○様々な活動や学習に前向きな気持ちで取り組む児童が増えている。一方で、自分の良さや役立ち感に気づかず、後ろ向きな発言をする児童も見られる。   | ○学校や学級への所属感を高め、役立ち感を味わい、笑顔で生活している。                  | ○学級活動(1)でみんなで話し合っ決めて決めたこと(遊びや役割など)を実践し、ふり返る活動を通し、達成感をもったり次回への意欲を高めたりする。                          | ◆i-checkのI(自己認識)-2(自己肯定感)-④(成功体験と自信)の項目において、iスコア2.8以上。  |      |         |           |
|                | ○あいさつを当たり前にする子の育成             | ○人とすれ違う際に自然とあいさつをする児童がいる。一方で、あいさつが習慣化していない児童も見られる。  | ○いつでも、どこでも、誰にでもあいさつをしている。                           | ○あいさつ標語の募集をするなど、児童会活動を充実させることであいさつへの意識を高める。<br>○学級活動(2)で自己決定した取り組みをあいさつ月間で実践する。(6月11月)           | ◆児童アンケートであいさつに関する項目で肯定的意見が80%以上。  |      |         |           |
| <b>健やかな体</b>   | ○体力の向上                        | ○新体力テストで例年に比べ、シャトルラン、反復横跳びが低い。  | ○自分の体力を向上させようとする意識を持ち、運動する。                         | ○なわとびを通年でを行い、持久力をつけ、マラソン大会にも目標を持って取り組む。<br>○健やかな体と体力づくりのために給食での残量を減らす。                           | ◆シャトルラン、反復横跳びの体力結果を維持または例年の数値に近づける。<br>◆各学期のはじめとおわりに、各学級で実態を把握するとともに、意識の変容を見取る。<br>◆児童アンケート「良い姿勢で学習した」等の達成率75%以上を目指す。<br>◆年2回のメディコンウィークに進んで取り組み、意識の向上を図る。 |      |         |           |
|                | ○体づくり                         | ○事故やけがを未然に防ぐことができる運動能力や体幹づくりが課題   | ○良い姿勢を保持して学習できたり、自分のみを守るための運動能力を向上させようと努力したりする。     | ○朝の会で「ワンミニッツエクササイズ」をはじめとする運動等の実施や各学級で工夫した柔軟運動を行う。<br>○町教育会健康体育部の保小中の状況や課題、PTA保体部での考察等を共通理解して生かす。 |   |      |         |           |
|                | ○メディアコントロールの推進                | ○タブレット使用等、メディアに関する増加。   | ○正しくメディアを活用し、関わるができる。                               | ○メディアの特長を活かしてタイムリーに情報発信している。高学年児童を中心に児童主体で情報発信を目指す。  | ○割り振られた担当が、月に2回情報を更新する。各学年で年間2回の更新と、高学年へのHPの更新の呼びかけ。<br><br>○6地区の特色を教材に取り入れた学習をした際には、その様子を職員室前の掲示板に載せる。<br><br>○ボランティアさんとの活動の場合には紹介し、廊下掲示にも名前を入れる。        |      |         |           |
| <b>温かなつながり</b> | ○地域に出かけ、地域を知り、地域と繋がろうとする児童の育成 | ○分担によりHP担当の負担が軽減されたが、校外学習等学年行事の更新ができていない学年もあった。<br><br>○6地区の掲示板の見える児童や事業参加する児童の割合は増えてるものの、多くはない。<br>○コミュニティ・スクールが発足し、地域コーディネーターとの連携によって、地域とのつながりが生まれつつある。 | ○メディアの特長を活かしてタイムリーに情報発信している。高学年児童を中心に児童主体で情報発信を目指す。 | ○6地区の特色を教材に取り入れた学習をした際には、その様子を職員室前の掲示板に載せる。<br><br>○ボランティアさんとの活動の場合には紹介し、廊下掲示にも名前を入れる。           | ◆年間行事、学年の校外学習等を更新している。<br><br>◆児童アンケートで肯定的な回答7割をめざす。掲示板を更新する。<br><br>◆児童アンケートで肯定的な回答7割を目指す。   |      |         |           |